

豊かで充実した老後を

**漁業者国民年金基金**  
**漁業者年金**

ひとりとは万人のために、万人はひとりのために

1月号 No. 423  
一部 10円

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会  
(財) 兵庫県水産振興基金  
神戸市兵庫区中之島 2-2-1  
TEL 681-6954~7  
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

# 拓 水



## 心豊かなくらしと 活力ある漁村社会の創造

### 新年のご挨拶



兵庫県漁業協同組合連合会  
会長理事 酒部 龍 三

新年あけましておめでとうございます。皆さまにお迎えの心よきお返し申し上げます。

昨年は海外において、アチアの紛争等に代表されるような大きな出来事がありました。ソ連のクーデター事件、各共和国の連邦離脱、さらにもパブル経済の崩壊から端を発した証券

不祥事が発生し、証券業界あるいは監督官庁である大蔵省が内外から大きな批判を受けました。振り返ってみると、こうした現象は社会という流れが「過去」「現在」「未来」へと流れて行く中で起こるべくして起こった「奔流」であり「濁流」であると改めて強く感じました。

同時に私達人間が構造的な要因から価格を低減し経営不振を訴える生産者も多く、業者が年々大幅に減っていますし、明石海峡大橋や関西国際空港の建設あるいは津名国際リゾートアイランドの象徴されるように海面での大型開発が進んでおり、海上交通の輻輳化、海洋レジャーの進展等と相俟って漁船漁業の生産の場としての海に様々な制約が生じています。また、但馬

兵庫県知事



貝原 俊 氏

## きらめく“共生の海”へ

瑞雲高く 県土に光さんさん  
こぼれる 早春の香ふいくと  
希望の歌声 潮の音にあい和し  
ごころ豊かな兵庫 への鼓動  
波打って あすの時を刻む

見はるかす 明けぞめの潮路は  
南十字星またたく 太平洋  
北斗七星輝く 日本海  
春暁迎えた 兵庫を門戸に  
向岸に連なる 交流の波は  
大きくうねりたぎって 北・南へ

世界の友との親愛深めんと  
五四〇万国民の熱い想いを一つに  
目ざすは 互恵平和ひらく道  
風を切り 波を蹴たてて  
波頭きらめく 共生の海へ

でもズワイガニに代表されるように資源再生の圧力に陰りが見えつつありますし、韓国漁船の無謀な活動については、昭和六十二年の国家間の取り決める規制措置の实效性を期待していましたが、違反操業を一向に改めないばかりか、その実態はますます悪質・巧妙化しているなど本県の漁業をめぐる環境は、決して楽観できない状態がつついています。

このような中で、私達漁業に携わる者はそれぞれ立場で互いに手をとり合い、こうした困難な問題の解決に向けて努力してまいりました。

本会としても一昨年より「心豊かなくらしと活力ある漁村社会の創造」をテーマに基本方針を

一、漁村を担う人づくり  
二、活力ある組織づくり  
三、豊かな海づくり

と定め本県漁業の健全な発展に努めています。この中でも私は「人づくり」は特に大切なことだと考えています。その理由は組織づくりも海づくりも「人」が中心になるからであり、本県漁業がここまで発展してきたのも、漁業者やその関係者のためめな努力と協力の結果であると確信しています。しかしながら、これからは兵庫の漁業が発展して行くためには、今後は単に当事者である私達だけではなく、今まで

外部者として見がちな解が不可欠であり、そのためにも海や漁業を知っていただくための活動を積極的に行い、漁業を理解する人づくりを進める必要があると考えています。

近年民間の大手企業を中心として、企業イメージ向上のため地域社会への貢献策が実施されていますが、我々の漁業も地域社会から遊離するのではなく、その存在価値を積極的にアピールすべきであると思っております。

また、組織づくりの面においては、近年経済社会の急激な変化が一段と加速する中で漁協の経営環境もますます厳しさを増していることから、漁協本来の役割と使命を果たして行くため、経営規模の拡大と合理化が早期に実現されることが望まれており、そうした意味で漁協合併に真剣に取り組まなければなりません。漁協合併協議会も本年より本格的な活動に入りますが、生産から行政まで漁業に関係する一人一人の協力無くして、その推進は望みません。

これからは皆さんと充分連携を取りながら、本県水産業の発展に努力して参りたいと思っておりますので、これまで以上に会員各位のご協力と、関係機関並びに関係団体のご指導ご支援をお願いいたしまして新年のご挨拶といたします。

# 新春を迎えて

兵庫農林水産部  
水産課長 高橋 伊勢雄



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

漁村の皆様には、ご家族お揃いで清々しい新春をお迎えになられたことをお慶び申し上げます。

新しい年が輝かしい希望と飛躍への期待に満ちた歳月になりますよう心から祈念申し上げます。

願いますと昨年は、ソ連邦の解体や統一欧州の実現に向けてEC

対応するとともに構成国のニーズにきめ細かく応じ得るダイナミックな組織づくりを目指し系統・行政各関係機関が協力し協働の合併統合等の推進にお一層の尽力をお願い申し上げます。

また、日本海においては、ソ連領土の激変や韓国・北朝鮮の国連同時加盟等により、かつての「対立と緊張の海」から「繁栄と協調の海」に変わろうとしています。

環日本海地域が連携し文化・学術・経済・環境・資源管理等さまざまな分野における交流が望まれるところであります。

平成四年度には、日本海水産資源の国際管理を推進するため、県研究者会議の開催や漁業者交流推進事業への支援等を行うこととしております。

今後、二一世紀に向けて、国民への水産物の安定供給、国土の均衡ある発展等の役割を果たしていくため、漁業の再構築が急務となっております。

このため、次の三点を念頭に置き水産施策を推進して参ります。

一つは、資源管理型漁業を基本とする漁業の再構築であり、二つは、消費・流通の多様化に伴う国民のニーズに即応し得る水産物の生産・加工・流通体制

等の漁業生産基盤施設の整備と併せて住民の生活環境向上のための施設の整備を促進することが一層緊急かつ重要な課題となっております。

また、近年の国民の親水性レクリエーションの高まりに対応して、漁村をレクリエーションの場やその基地として、外部に開かれたい域として整備することが期待されています。

このため、マリノーション構想を踏まえ、水産業を核として、漁業を魅力ある産業として確立することも重要ですが、それとともに都市と比べ遅れている漁村の生活環境を改善することも不可欠の要素と考えられ、漁港

の確立であります。三つ目は、漁業経営の改善と漁村の活性化であり、海を持つ国民共有財産としての価値を漁協が核となつて、広く一般に提供する方策について関係者が一体となって英知を結集すべきときであります。

さて、本年四月には、久し待ち望まれてきた新しい水産試験場が、いよいよオープンいたします。これにより、水産関係の施設が、明石市二見地区に集中配置されることになり

ます。試験研究・技術開発を効率的に行うとともに、開かれた教育・文化的施設として漁業関係者のみならず一般国民の資質向上及び水産業の発展に大いに役立つことを願っております。

さらに、国内の水産物生産が伸び悩んでいる今、それらの水産物を最大限に活用し、国民の食生活の変化に対応した生産・加工・流通体制の確立を図ることが一層重要となっております。

現在進められている第八次漁港整備長期計画では、単なる漁港の整備だけでなく、さまざまな生活環境施設、そのような生活環境施設等の計画的整備、特に、集落排水処理施設や生活道路等漁業集落の生活環境の改善を総合的に行う漁業集落環境整備事業あるいは漁港の環境向上に必要な漁港環境整備事業等を実施しています。

さらに、新沿岸漁業構造改善事業(後期対策)では、栽培漁業を積極的に推進するため、育苗生産施設、中間育成施設等を整備したり、産地における流通体制の整備を図るため、簡易加工処理施設、水産物鮮度保持施設等の整備が行われています。

以上述べましたよう

す。時代は対立から融和、統合へと着実に動いています。

私達にとつて最も大切なことは、水産系統組織が協同の力を発揮して組織強化に向かって力強く前進することであり、

最後になりましたが申張が皆様の手で実りある良い年になりますよう心から祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。



平成四年の新春を迎え、謹んでお祝いを申し上げます。

皆様方には、ご家族お揃いで、つつがなく新年をお迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年をふり返つてみると、一月早々、イラク軍と多国籍軍の湾岸戦争のほつ発。ソ連では、クーデターが連日、ソ連の政治体制が崩壊し、世界の冷戦構

造に大きな変ぼうをもたらした。また、国内では、パブル経済がはじけて経済界が大きく混乱したなど内外とも激動の年であったように思いますが、幸い水産試験場では、新しい水産試験場が、二見の人工島に立派に完成

しました。国内は勿論のこと米国、ソ連、中国、台湾、インドネシアなど多くの国から沢山の人が視察に来て頂くなど明るい話題に恵まれた良い年であったように思います。

我が国の水産業は、国民の食生活にとって必要な動物性蛋白質の約半分を供給する大事な食糧生産を担っており、最近では、魚のEPAが動脈硬化防止に、DHAの働きが頭に良くなる等言われており、健康面でも大きく評価されており、ある水産業の確立と活力ある漁港・漁村づくりをめざして全力をあげて取り組んで参りたいと考えております。

今後とも関係者の皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

今年のご挨拶といたしまして、

造に大きな変ぼうをもたらした。また、国内では、パブル経済がはじけて経済界が大きく混乱したなど内外とも激動の年であったように思いますが、幸い水産試験場では、新しい水産試験場が、二見の人工島に立派に完成

的に利用出来る手法の開発研究が求められるなど試験研究の役割が益々高まっています。私達も、水産業の将来を展望しつつ、地域に密着した試験研究課題を効果的に取り組んで参りたいと考えております。

今年の水産試験場の主な研究課題としては、(一)、資源管理型漁業の推進を図るために漁場環境、餌料生物の発生と資源の関係を明かにし、漁場の適切な漁獲許容量を推定し、資源の有効且つ合理的に利用する必要があり、イカナゴ資源の総合管理技術の開発、マグロの沈着以降の資源生態調査、小型底曳網漁業の底魚資源の合理的利用などの研究であります。

(二)、栽培漁業の展開を図るためには、有用魚介類の種苗生産技術と放流技術の効果的研究が必要であり、(三)、種苗生産技術の改良、新規には、マグロの種苗生産技術の研究、また、ガザミ等甲殻類の放流技術の移動生態及び再生産機構の調査研究などであり

ます。(四)、養殖技術の確立を図るため、バイオテクノロジーなどの先端技術によりヒラメのクローン化技術の開

発、養殖のリッププロラストによる優良品種の作出、また、養殖用種苗開発として、シロギスの産卵要因を研究するほか、魚類ウイルスのモノクローナル抗体による早期診断法の開発研究などであり

ます。(五)、漁場開発と環境保全については、大規模増殖場における餌料生物発生などの魚礁効果の究明、赤潮予防のためのプランクトン種間の競合機構の究明などの研究であります。

今年、新しい水産試験場がオープンする輝かしい年であり、水産試験場員一同、新たな決意を以て、二一世紀に向けて、これ等の研究開発に総力をあげて取り組んで参る所存でありますので皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

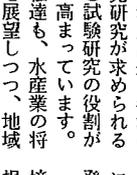
新しい年に皆様方のご健康で、ご活躍を祈念しまして、新年のご挨拶と致します。

場長 森 茂

兵庫農林水産試験場

# 新春を迎えて

兵庫農林水産部  
水産課長 高橋 伊勢雄



平成四年の新春を迎え、謹んでお祝いを申し上げます。

皆様方には、ご家族お揃いで、つつがなく新年をお迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年をふり返つてみると、一月早々、イラク軍と多国籍軍の湾岸戦争のほつ発。ソ連では、クーデターが連日、ソ連の政治体制が崩壊し、世界の冷戦構

造に大きな変ぼうをもたらした。また、国内では、パブル経済がはじけて経済界が大きく混乱したなど内外とも激動の年であったように思いますが、幸い水産試験場では、新しい水産試験場が、二見の人工島に立派に完成

しました。国内は勿論のこと米国、ソ連、中国、台湾、インドネシアなど多くの国から沢山の人が視察に来て頂くなど明るい話題に恵まれた良い年であったように思います。

我が国の水産業は、国民の食生活にとって必要な動物性蛋白質の約半分を供給する大事な食糧生産を担っており、最近では、魚のEPAが動脈硬化防止に、DHAの働きが頭に良くなる等言われており、健康面でも大きく評価されており、ある水産業の確立と活力ある漁港・漁村づくりをめざして全力をあげて取り組んで参りたいと考えております。

今後とも関係者の皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

今年のご挨拶といたしまして、

造に大きな変ぼうをもたらした。また、国内では、パブル経済がはじけて経済界が大きく混乱したなど内外とも激動の年であったように思いますが、幸い水産試験場では、新しい水産試験場が、二見の人工島に立派に完成

的に利用出来る手法の開発研究が求められるなど試験研究の役割が益々高まっています。私達も、水産業の将来を展望しつつ、地域に密着した試験研究課題を効果的に取り組んで参りたいと考えております。

今年の水産試験場の主な研究課題としては、(一)、資源管理型漁業の推進を図るために漁場環境、餌料生物の発生と資源の関係を明かにし、漁場の適切な漁獲許容量を推定し、資源の有効且つ合理的に利用する必要があり、イカナゴ資源の総合管理技術の開発、マグロの沈着以降の資源生態調査、小型底曳網漁業の底魚資源の合理的利用などの研究であります。

(二)、栽培漁業の展開を図るためには、有用魚介類の種苗生産技術と放流技術の効果的研究が必要であり、(三)、種苗生産技術の改良、新規には、マグロの種苗生産技術の研究、また、ガザミ等甲殻類の放流技術の移動生態及び再生産機構の調査研究などであり

ます。(四)、養殖技術の確立を図るため、バイオテクノロジーなどの先端技術によりヒラメのクローン化技術の開

発、養殖のリッププロラストによる優良品種の作出、また、養殖用種苗開発として、シロギスの産卵要因を研究するほか、魚類ウイルスのモノクローナル抗体による早期診断法の開発研究などであり

ます。(五)、漁場開発と環境保全については、大規模増殖場における餌料生物発生などの魚礁効果の究明、赤潮予防のためのプランクトン種間の競合機構の究明などの研究であります。

今年、新しい水産試験場がオープンする輝かしい年であり、水産試験場員一同、新たな決意を以て、二一世紀に向けて、これ等の研究開発に総力をあげて取り組んで参る所存でありますので皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しい年に皆様方のご健康で、ご活躍を祈念しまして、新年のご挨拶と致します。

場長 森 茂

兵庫農林水産試験場

# 新春を迎えて

兵庫農林水産部  
水産課長 高橋 伊勢雄



平成四年の新春を迎え、謹んでお祝いを申し上げます。

皆様方には、ご家族お揃いで、つつがなく新年をお迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年をふり返つてみると、一月早々、イラク軍と多国籍軍の湾岸戦争のほつ発。ソ連では、クーデターが連日、ソ連の政治体制が崩壊し、世界の冷戦構

造に大きな変ぼうをもたらした。また、国内では、パブル経済がはじけて経済界が大きく混乱したなど内外とも激動の年であったように思いますが、幸い水産試験場では、新しい水産試験場が、二見の人工島に立派に完成

しました。国内は勿論のこと米国、ソ連、中国、台湾、インドネシアなど多くの国から沢山の人が視察に来て頂くなど明るい話題に恵まれた良い年であったように思います。

我が国の水産業は、国民の食生活にとって必要な動物性蛋白質の約半分を供給する大事な食糧生産を担っており、最近では、魚のEPAが動脈硬化防止に、DHAの働きが頭に良くなる等言われており、健康面でも大きく評価されており、ある水産業の確立と活力ある漁港・漁村づくりをめざして全力をあげて取り組んで参りたいと考えております。

今後とも関係者の皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

今年のご挨拶といたしまして、

造に大きな変ぼうをもたらした。また、国内では、パブル経済がはじけて経済界が大きく混乱したなど内外とも激動の年であったように思いますが、幸い水産試験場では、新しい水産試験場が、二見の人工島に立派に完成

しました。国内は勿論のこと米国、ソ連、中国、台湾、インドネシアなど多くの国から沢山の人が視察に来て頂くなど明るい話題に恵まれた良い年であったように思います。

我が国の水産業は、国民の食生活にとって必要な動物性蛋白質の約半分を供給する大事な食糧生産を担っており、最近では、魚のEPAが動脈硬化防止に、DHAの働きが頭に良くなる等言われており、健康面でも大きく評価されており、ある水産業の確立と活力ある漁港・漁村づくりをめざして全力をあげて取り組んで参りたいと考えております。

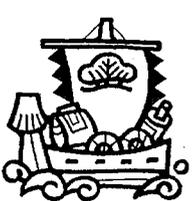
今後とも関係者の皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

今年のご挨拶といたしまして、

造に大きな変ぼうをもたらした。また、国内では、パブル経済がはじけて経済界が大きく混乱したなど内外とも激動の年であったように思いますが、幸い水産試験場では、新しい水産試験場が、二見の人工島に立派に完成

しました。国内は勿論のこと米国、ソ連、中国、台湾、インドネシアなど多くの国から沢山の人が視察に来て頂くなど明るい話題に恵まれた良い年であったように思います。

我が国の水産業は、国民の食生活にとって必要な動物性蛋白質の約半分を供給する大事な食糧生産を担っており、最近では、魚のEPAが動脈硬化防止に、DHAの働きが頭に良くなる等言われており、健康面でも大きく評価されており、ある水産業の確立と活力ある漁港・漁村づくりをめざして全力をあげて取り組んで参りたいと考えております。



# 年頭のご挨拶

全国漁業協同組合連合会

会長理事 池尻 文二



年頭に当り、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年、早々より多国軍の湾岸戦争進出で、中東情勢に大きな波乱を含む幕開けとなりました。

戦火の中で、石油や製油所が炎上していく光景は、まさに一九九〇年前

の石油パニックの再来を想起させました。幸いにして石油事情は悪化せず、漁業経営にも直接の影響が及ぶことなく経過しました。

しかし、その後、わが国は国際政策をめぐって国際社会の一員としての役割を問われ、国際的に様々な対応を迫られることとなりました。

またソ連をはじめとする民主化のうねりや韓国・北朝鮮の国連同時加盟など、世界的に

大きな変化をみた一年でありました。

さらに、さし迫った問題であった日韓漁業問題についてはその自主規制措置が期限切れとなり、「新たな枠組みづくり」を問題解決の焦点とし奔走しましたし、ガット・ウルグアイ・ラウンドについても大詰めを迎え国際的に緊迫した年でありましたが、農業交渉の帰趨がはっきりせず、IQ枠の堅持を基本にして主張したものの水

産物についても不透明のまま終始しました。

本年は、さらに決意を新たに日韓漁業問題の改善に当り、操業秩序確立のため粘り強い運動を取り組み、同時に、ガット・ウルグアイ・ラウンドについても最大限の努力をしていく覚悟であります。

一方、平成元年に開催した第三回全国漁協大会で採択した運動方針の具体的な実践として、漁協系統の事業・組織のあり方について「漁協系統事業組織検討委員会」等の委員会を発足させ、本格的な検討を開始いたしました。これは、内外ともに

にますます変化の横潮が強まる中で、「自立・たすけあい」の原則に立つた漁協運動の二世紀への展望を拓くための指針づくりであります。同時に、本年開催の第四回全国漁協大会の新たな決議に繋がっていくものであります。

また、本年はよい一〇月に国際漁協同盟（ICA）の第三〇回世界大会がアジアではじめて東京で開催され、また一月には第四回全国漁協大会、本会創立四〇周年が開催されました。

とりわけ今日の国際・国内環境の中において、これらの記念すべき

き大会が連続的に開催されることは歴史的にも意義深いことであり、漁協系統組織にとって大きな飛躍になるとともに新たな運動の展開にさらなる期待が寄せられていくところであります。

既に決定されているICA東京大会の討議テーマは、その第一を「協同組合の基本価値」とし、その第二を「環境と持続的発展」としてありますが、その目指す方向性は第四回全国漁協大会の趣旨とも軌を一にするものであります。

ことに環境問題については、世界の最重要政策の一つであり、

オゾン層破壊・温暖化・酸性雨等々私たちが生活環境に与える影響の深刻な問題が数多く含まれております。

から取り組むことは、人間の優先」という協同組合運動の特質からも二世紀へ向け新たな挑戦であると感じております。

その環境問題に正面から取り組むことは、協がどう新しい形の生産物を供給できるか、そして第三は海のものだけ提供できるか、と

この機会にその貴重な経験を生かすべく行動するものであります。このような中で将来を展望する漁協系統組織のあり方を考えると、私は次の三つの基本政策の一つであり、

本的な課題があると思っております。

それは、第一に資源管理型漁業を基本的とする再構築ができるかどうか、第二に消費流の多様化に伴い漁民のニーズに適切して漁業の多様な生産物の供給がどう新しい形の生産物を供給できるか、そして第三は海のものだけ提供できるか、と

この機会にその貴重な経験を生かすべく行動するものであります。このような中で将来を展望する漁協系統組織のあり方を考えると、私は次の三つの基本政策の一つであり、

この機会にその貴重な経験を生かすべく行動するものであります。このような中で将来を展望する漁協系統組織のあり方を考えると、私は次の三つの基本政策の一つであり、

はもとより水産物輸入が史上最高を更新する勢いで推移する一方、サケ・マス沖獲りや公海漁獲が相次いで禁止されるなど、漁業をめぐる状況は一変している現状であります。

その厳しい変化の波の中において、今後のわが国の発展を考えると、漁協の重要性と私たち漁協運動の果たすべき役割ほど大きなものはありません。

その意味から、ICA東京大会並びに第四回全国漁協大会に組織の総力をあげて結果を結び合つことが、新

計の自由化もスケジュール化されていく中で、今後は多様な組み合わせ商品など開発の動きが予想されます。このように金融自由化が本格化していく中で、個々の漁協が単独でこの厳しい環境に対応するには限界があり、また、漁協信用事業が予想されます。定期性貯蓄金利につきましても、自由化の第一歩として、本年六月から、最低預入残高四〇万円と二〇万円の二種類の新型貯蓄貯蓄金が市場金利連動型で導入される予定であり、さらには、金利の自由化にあわせて商品設

## 「明日」をめざしてさらに前進

全国漁業協同組合連合会 会長理事 伊東 正義



全国の漁村の皆さん、明けましておめでとうございます。

漁業をとりまく情勢が依然としてきびしいなか、皆さんの毎日のご苦労のほどを拝察申し上げます。

そのなかで、組合員の漁業経営と暮らしをまもる「漁協共済」の役割は、漁業の「明日」のためにいっそう重要であると痛感し、皆さんとともに、決意を新たに「漁協共済」の課題に取り

組みたいと思っております。

このうち「ききょう」につきましては、昨年は台風等例年になく多くの災害に見舞われ、多額の共済金が支払われました。これら共済金は漁業者の経営安定に寄与したばかりでなく、制度への認識を深めることに役立ったものと考えております。

こうしたおり、「ジャンプ・アップききょう」運動はいよいよ第四年度、運動の仕上げの年を迎えます。さらに多くの漁協が、不漁や災害など不慮の事態の備えとしての「ききょう」をみずからの事業として取り組むよう、本年

は目標達成にむけて力を尽くしてまいりたいと存じます。

また「漁協の共済」につきましては、漁協元受け九年度、「躍進三年計画」の最終年度を迎えますが、組合員の暮らしの保障を万全にするためには、漁協が主役となって共済に取組み、事業量の飛躍的な拡大を図ることが不可欠になります。

その実践にあたっては、事業実施体制を強化し、人づくりをさらに促進し、事業量の増大をめざすために、「ききょう」「チャレンジ」をキーワードとする「躍進運動」を展開すること

し、輝かしい成果をもって、躍進三年計画の総仕上げを期したいと存じます。

さらに「漁業者ねんきん」につきましては、ひきつづき推進協議会を軸に、年々増える増額・加入拡大をめざす「拡充運動」を展開するとともに、国民年金を上乘せする公的年金制度として昨年国民年金基金（なぎさ年金）についても、漁協系統の運動によって、加入の普通化を図らなければならぬと考えます。

真の漁業経営の安定、漁業者の福祉のために「漁協共済」こそふさわしい対策であると確信し、その確信をめぐして、皆さんと相携え、今年も力よく前進してまいりたいと存じます。

## 新年のご挨拶

兵庫県信用漁業協同組合連合会 会長理事 木下 清



新年あけましておめでとうございます。平成四年の年頭にあたり、県下漁村のみならず、真の漁業経営の安定、漁業者の福祉のために「漁協共済」こそふさわしい対策であると確信し、その確信をめぐして、皆さんと相携え、今年も力よく前進してまいりたいと存じます。

が〇・五％、さらに十一月十四日に〇・五％と、二度にわたって引き下げが実施され、金融政策のスタンスは、「引き締め」から「中立」に移ってまいりました。

高騰を続けた実勢金利水準も、やっとなお落ち着いたと見受けられます。

金融の自由化につきましても、昨年四月に備投資に支えられて景気拡大を続けてきたものの、低預入額が一〇〇万円から五〇万円に引き下げられ、また、十一月五日からは、三〇〇万円以上の定期貯蓄金、スパー定期という名のもとに自由金利とな

りました。

一方、本県漁業の動向は、資源の減少、魚価の低迷などが重なり、漁業経営は依然としてきびしいものがあります。

こうした中ではありましたが、本県漁協信用事業は、「兵庫県漁協貯蓄八百億円達成運動」の第一年度として、量から質への重視へと運動方針を修正し推進に努めました結果、組合の自主的な必要目標額を達成することができました。これも偏見なく、県下漁業者のみならず、漁協役員並びに関係者各位の力が結集された結果であり、

本的な課題があると思っております。

それは、第一に資源管理型漁業を基本的とする再構築ができるかどうか、第二に消費流の多様化に伴い漁民のニーズに適切して漁業の多様な生産物の供給がどう新しい形の生産物を供給できるか、と

この機会にその貴重な経験を生かすべく行動するものであります。このような中で将来を展望する漁協系統組織のあり方を考えると、私は次の三つの基本政策の一つであり、

はもとより水産物輸入が史上最高を更新する勢いで推移する一方、サケ・マス沖獲りや公海漁獲が相次いで禁止されるなど、漁業をめぐる状況は一変している現状であります。

その厳しい変化の波の中において、今後のわが国の発展を考えると、漁協の重要性と私たち漁協運動の果たすべき役割ほど大きなものはありません。

たな漁協運動の展開にとって必要であります。

記念すべき新しい年とともに、いよいよ二一世紀の足音が聞こえはじまりました。私もまた、皆様とともに夢をもって力強く歩んで参りたいと思っております。

本年が、全国の漁協系統組織にとって素晴らしい飛躍の年となりまうよう祈念いたし新年のご挨拶といたします。



# 普及員 たより 農業婦人の手で 魚食普及が!

最近の漁業の情勢から、瀬戸内海に多産されるイワシ、イカナゴ等を有効利用するため、消費動向に即した新製品の開発や、良質なばく質である水産物の消費拡大が必要である。漁協婦人部活動としても、研修会や各種の消費者への魚食普及活動が開催されている。

姫路市網干の農家六名(垣口とみ子代表)が組織する生活改善グループでは、イワシを佃煮風に煮付けた「イワシのくき煮」がおふるくろの味として、好評であり、年々需要が伸びている。これに使

ている「ひらこイワシ」は、尾と頭を取り除き、親指位に書あがつたものが一番良い。販売を始めて、八年目になり、注文も増えている。材料、労力等の都合もあって、年間二、六〇〇ケースと生産量に限りがある。今では週二回の朝市と各種イベントが、主な販売先である。

簡単に「イワシのくき煮」の作り方を紹介する。

◎材料 イワシ1kg 砂糖(キザラ)二三土しょうが二五〇g 醤油二五〇cc

北西の季節風が骨身にしみる季節となりましたが、今回は、但馬普及班が取り組んでいる普及事業の中から、婦人部関係の事業について紹介させていただきます。

漁村婦人加工実践活



おいしいイワシの味干しを加工しているところ

## 兵庫県立香住高等学校 「但州丸」実習生激励会を開催

去る一月五日(土)に、実習生を励ます会を開催しました。

激励会では、漁政懇話会を代表し、酒部県漁連会長の挨拶の後、県教育委員会、岡本副課長、県農林水産部今井漁港課長並びに県立香住高等学校校長が各々激励の言葉を述べた。

立香住高等学校の「但州丸」実習生代表挨拶が行われました。

実習生一四名は、一人一人が氏名、出身地、卒業後の進路等を洗剤とした態度で自己紹介し、特に卒業後については、漁業に従事するものが多いと述べた。

これは、兵庫県協賛会(県下漁協系統一団体制)で構成された、当日(二月五日)、チサンホテル神

待されています。

「但州丸」実習生の自己紹介の様

# 税のしるべ

## 平成四年一月一日から 地価税がスタートします!!



今月から地価税が実施されます。地価税とは、個人や法人がその年の一月一日において保有する土地等(非課税の土地等を除く)を対象として課税される税金です。そこで、今回は地価税について、そのあらましを説明しましょう。

地価税の対象となる土地等とは、①居住用の土地等(千平方メートルを超える部分については課税) ②農地・森林に係る土地等 ③公共・公益的用途に供されている土地等 ④一平方メートル当たりの更地価額が三万円以下の土地等

「土地等」には課税されません。土地等の価額は、その計算方法には、路線

路線価	900円/㎡	→	坪数	900坪	→	路線価総額	810,000円
宅地	150円/㎡		坪数	150坪		路線価総額	22,500円
合計			900坪 × 150坪 = 135,000坪			路線価総額	135,000円

地価税の計算 個人又は法人が、その年の一月一日において国内に保有する土地等の計算方法には、路線

$$\left( \begin{array}{c} \text{課税価格} \\ \text{土地等の価額の合計額} \\ \text{(非課税土地等は除く)} \end{array} \right) \times \begin{array}{c} \text{税率} \\ 0.3\% \\ \text{(平成4年分は1.2\%)} \end{array} = \text{納付税額}$$

く。の価額(相統額)の二(二)を乗じて税額を計算したが、課税対象の土地等の面積(㎡)×※三万円

## 所得税の確定申告は 二月十六日からです!

正しい確定申告を、次のような場合は、確定申告をしなければなりません。

(1)事業所得や不動産所得などがあつた方

(2)サラリーマンの方

(3)給与を二か所以上か

一定の土地等を対象とする二分の一課税や五分の一課税の特例があります。

基礎控除額には、一定の基礎控除額と面積比例控除額があり、そのいずれか多い金額がその年の基礎控除額となります。

①(定額控除) 資本金等が一億円を超える普通法人及び相互会社等は一〇億円、個人及び前記以外の法人は一五億円。

②面積比例控除 課税対象となる土地の面積(㎡)×※三万円

その土地等が次のいずれかに該当する場合は、※の「三万円」は、それぞれ次のようになります。

●借地権の設定がある場合

借地権等は、三万円×借地権等の割合

●底地は 三万円×底地の場合

●価額の特例の対象となる土地である場合は、三万円×1/2(又は1/5)

申告と納税 地価税の申告と納税をしなければならない個人又は法人は、申告書をその年の一月一日から一月三十一日(平成四年分は一月一日から一月三十一日)までの間に納税地(原則として、個人の場合は住所、法人の場合は本店又は主たる事務所所在地)を所轄する

確定申告をしなければなりません。

確定申告をしなければなりません。

確定申告をしなければなりません。

水試ノート

日本海の海洋観測



但馬水産事務所試験研究室では、調査船「たじま」を動かして、当室のかんりの精力(予算・人員等)を使ってほぼ毎月海洋観測を実施し、結果を速報として、漁業者へ報告していただきます。これは、日本海の水温分布の現状がどのようになっているかを報告していただくと、スルメイカ一本釣漁業他の操業点決定や漁業計画の基本的な情報として役立ててもらいたいからです。

昨今、多くの漁業者は、操業記録機器を登録して、自船と同僚船の操業データを貯え、操業点決定の大きな要素として活用しています。しかし、漁場環境は、他の操業船との関係、気象、海況等によって、変更せざるをえない場合もかなりの頻度であり、自船のデータと好漁場との間にズレがあるようにも聞いています。今回は、漁況予測のための海況調査研究(海洋観測)の現況をお知らせしたいと思います。

海流 日本海は流入水と対馬暖流として南西の入口で受け入れられます。北半球のこの位置では、風等の他の条件が無ければ、地球の自転の関係から海流は北東方向へ進みます。三分枝説とか蛇行説とかの表現がありますが、おおむね南西から北東への流路で、北東の出口である津軽海峡、宗谷海峡および間宮海峡(海水の交流はほとんど)から太平洋等へ排出されています。図一に示した各地区間の模式的な断面を図二に示します。

気温、水温、塩分および密度等の要因がその航行中に表面と所定層(10mとか30m)の流向・流速を知ることができて、観測の都度報知しています。また、入口、出口ともに途中より浅いために(図一)に、底層水の交換が少なく、水深二〇〇m、三〇〇m以深は水温一℃前後、塩分三三・四程度で日本海の固有水として安定しています。これが日本海の海水概況です。

調査船「たじま」は航行中に表面と所定層(10mとか30m)の流向・流速を知ることができて、観測の都度報知しています。また、入口、出口ともに途中より浅いために(図一)に、底層水の交換が少なく、水深二〇〇m、三〇〇m以深は水温一℃前後、塩分三三・四程度で日本海の固有水として安定しています。これが日本海の海水概況です。

観測船「たじま」は航行中に表面と所定層(10mとか30m)の流向・流速を知ることができて、観測の都度報知しています。また、入口、出口ともに途中より浅いために(図一)に、底層水の交換が少なく、水深二〇〇m、三〇〇m以深は水温一℃前後、塩分三三・四程度で日本海の固有水として安定しています。これが日本海の海水概況です。

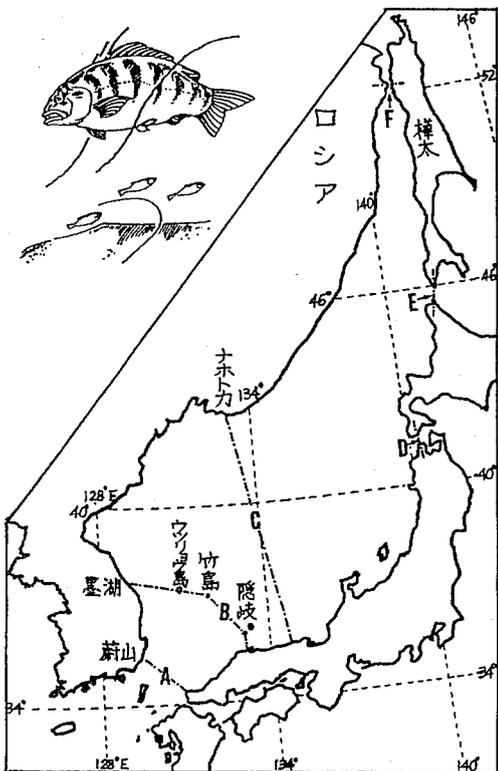
観測船「たじま」は航行中に表面と所定層(10mとか30m)の流向・流速を知ることができて、観測の都度報知しています。また、入口、出口ともに途中より浅いために(図一)に、底層水の交換が少なく、水深二〇〇m、三〇〇m以深は水温一℃前後、塩分三三・四程度で日本海の固有水として安定しています。これが日本海の海水概況です。

観測船「たじま」は航行中に表面と所定層(10mとか30m)の流向・流速を知ることができて、観測の都度報知しています。また、入口、出口ともに途中より浅いために(図一)に、底層水の交換が少なく、水深二〇〇m、三〇〇m以深は水温一℃前後、塩分三三・四程度で日本海の固有水として安定しています。これが日本海の海水概況です。

観測船「たじま」は航行中に表面と所定層(10mとか30m)の流向・流速を知ることができて、観測の都度報知しています。また、入口、出口ともに途中より浅いために(図一)に、底層水の交換が少なく、水深二〇〇m、三〇〇m以深は水温一℃前後、塩分三三・四程度で日本海の固有水として安定しています。これが日本海の海水概況です。

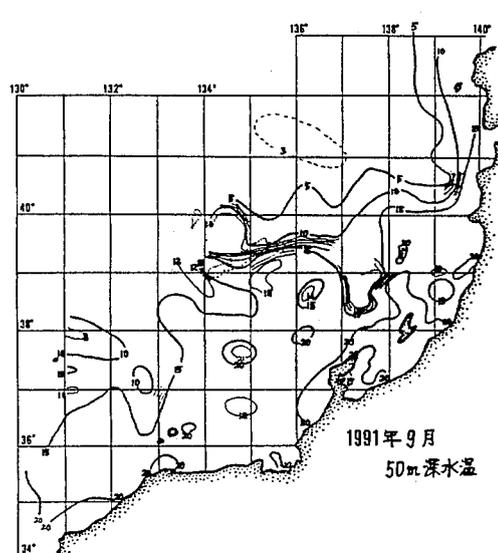
観測船「たじま」は航行中に表面と所定層(10mとか30m)の流向・流速を知ることができて、観測の都度報知しています。また、入口、出口ともに途中より浅いために(図一)に、底層水の交換が少なく、水深二〇〇m、三〇〇m以深は水温一℃前後、塩分三三・四程度で日本海の固有水として安定しています。これが日本海の海水概況です。

観測船「たじま」は航行中に表面と所定層(10mとか30m)の流向・流速を知ることができて、観測の都度報知しています。また、入口、出口ともに途中より浅いために(図一)に、底層水の交換が少なく、水深二〇〇m、三〇〇m以深は水温一℃前後、塩分三三・四程度で日本海の固有水として安定しています。これが日本海の海水概況です。

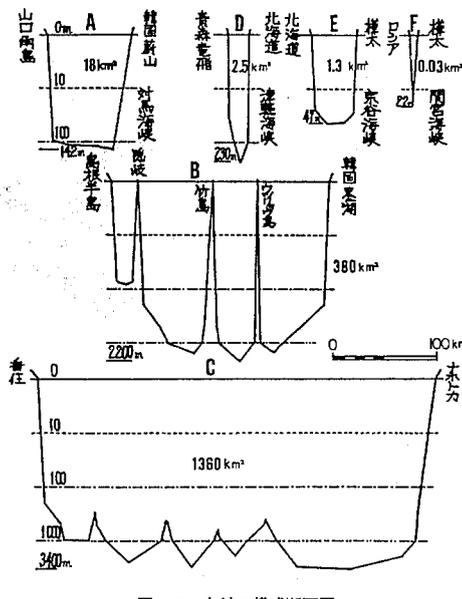


図一 日本海の地理

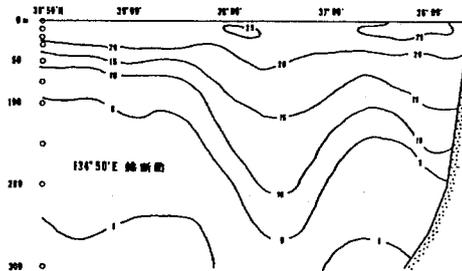
図一に示した各地区間の模式的な断面を図二に示します。出口の三海峡の合計は入口面積の二〇%余りで小さいために河川水のように直線的には流出できず、一部は冷やされながら、反転してリマン寒流として日本海の北側を南西に下っています。この基本的な流れに、風、月の引力、深層流、湧昇流、周辺海域の海流、地形(陸岸、海底)、気圧、



図四 1991年9月における50m深水温水平分布(℃)



図二 各地の模式的断面図



図三 平成3年9月における134°50'E線上の水溫断面分布(℃)

24時間オールのつち 神戸漁業無線局 (呼出名称) こうべぎぎょう (専用周波数) 26912KHZ

公のリテレホン情報 いつも新しい情報を用意しています。ご利用下さい。 TEL 078-942-1534



# 謹賀新年

本年もよろしくお願ひ申し上げます



### (財)兵庫県栽培漁業協会

理事 酒部 龍三  
専務理事 田寺 伸彦  
〒674 明石市二見町南二見二二二  
電話(〇七八)九四三二八二

### 兵庫県漁業協同組合連合会

会長理事 酒部 龍三  
専務理事 青 正輔  
常務理事 林 一成  
〒652 神戸市兵庫区中之島二二二  
電話(〇七八)六八二一三四二四

### 兵庫県信用漁業協同組合連合会

会長理事 木下 清  
専務理事 天野 栄蔵  
〒652 神戸市兵庫区中之島二二二  
電話(〇七八)六八二一八八五

### 兵庫県漁業共済組合

組合長理事 榎 本 實  
専務理事 岸 峯夫  
〒652 神戸市兵庫区中之島二二二  
電話(〇七八)六八二一九八七〇

### 兵庫県漁業信用基金協会

理事長 津 田 貞之  
専務理事 藤 原 力  
〒652 神戸市兵庫区中之島二二二  
電話(〇七八)六八二一五六四三

### (財)兵庫県水産振興基金

役員 一同  
〒652 神戸市兵庫区中之島二二二  
電話(〇七八)六八二一三七八九

### 兵庫県内海漁船保険組合

組合長理事 鯛 正次郎  
専務理事 浅井 政治  
〒650 神戸市中央区中山手通七丁目二八二二三  
電話(〇七八)三六二一八三三七

### 但馬漁船保険組合

組合長理事 村瀬 和夫  
常務理事 山脇 日出男  
〒669 城崎郡香住町香住一八五二二四  
電話(〇七九)三六二二二二

### (財)兵庫県水産公害対策基金

役員 一同  
〒652 神戸市兵庫区中之島二二二  
電話(〇七八)六八二一六九二二

### 兵庫県瀬戸内海漁業操業安全協会

会長 森 吉一  
事務局長 岩間 省三  
〒652 神戸市兵庫区中之島二二二  
電話(〇七八)六八二一三三七三

### 兵庫県漁港協会

会長 青山 幸男  
事務局長 杉本 幹夫  
〒650 神戸市中央区北長狭通五丁目五一八  
電話(〇七八)三五一六一〇七

兵庫漁業協同組合  
組合長理事 塩 谷 保夫  
神戸市兵庫区青田町三十七二九  
電話(〇七八)六七二七二九八

神戸市漁業協同組合  
組合長理事 山 田 春三  
神戸市垂水区平磯三二二二  
電話(〇七八)七〇六二〇四五六

東明石浦漁業協同組合  
組合長理事 村 上 岩光  
明石市中島二二二二二二  
電話(〇七八)九三二二二二二

明石浦漁業協同組合  
組合長理事 炭 谷 恒男  
明石市御町三三三三  
電話(〇七八)九二二二二二二

林崎漁業協同組合  
組合長理事 井 上 剛至  
明石市林三三三三三三  
電話(〇七八)九三二二二二二

江井島漁業協同組合  
組合長理事 橋 太 三  
明石市大久保町江井島四一八一六  
電話(〇七八)九四六一三三三

魚住漁業協同組合  
組合長理事 竹 本 昭六  
明石市魚住町中尾八九一  
電話(〇七八)九四六一三三三

東二見漁業協同組合  
組合長理事 若 佐 十郎  
明石市二見町東二見二〇一九  
電話(〇七八)九四三二二二二

西二見漁業協同組合  
組合長理事 泉 修  
明石市二見町西二見二〇三二二  
電話(〇七八)九四三二二二二

播磨町漁業協同組合  
組合長理事 筒 井 宗夫  
加古郡播磨町古宮七六八  
電話(〇七八)九四三二二二二

別府町漁業協同組合  
組合長理事 若 崎 堯一  
加古川市別府町新野辺一九六三  
電話(〇七九)三五〇四二二

尾上漁業協同組合  
組合長理事 森 川 福見  
加古川市尾上町池田八二〇  
電話(〇七九)二四〇〇四三

高砂漁業協同組合  
組合長理事 白 川 定男  
高砂市高砂町材木町一九八  
電話(〇七九)四二二二二二二

荒井漁業協同組合  
組合長理事 石 原 貞夫  
高砂市荒井町新浜二二七五〇  
電話(〇七九)四二二二二二二

伊保漁業協同組合  
組合長理事 早 川 正一  
高砂市高須一八八一八  
電話(〇七九)四八二二二二二

曾根町漁業協同組合  
組合長理事 古 門 信一郎  
高砂市曾根町二二二二二二二  
電話(〇七九)四七二二二二二

大塩町漁業協同組合  
組合長理事 濱 野 久良  
姫路市大塩町二二二二二二二  
電話(〇七九)五四二二二二二

的形漁業協同組合  
組合長理事 山 本 徳嗣  
姫路市の形町福泊四七九二二  
電話(〇七九)五四二二二二二

八木漁業協同組合  
組合長理事 須 多 和秀  
姫路市木場一三七八一  
電話(〇七九)四五二二二二二

白浜漁業協同組合  
組合長理事 浜 田 繁喜  
姫路市白浜町丙六一二二  
電話(〇七九)四五二二二二二

妻鹿漁業協同組合  
組合長代行 金 沢 義之  
姫路市飾磨区妻鹿八八七一  
電話(〇七九)四五二二二二二

阿成漁業協同組合  
組合長理事 中 野 昭道  
姫路市飾磨区阿成一二七七  
電話(〇七九)三五二二二二二

飾磨漁業協同組合  
組合長理事 鈞 秀雄  
姫路市飾磨区大浜三〇  
電話(〇七九)三五二二二二二

広畑漁業協同組合  
組合長理事 吉 田 稔彦  
姫路市広畑区東新町一六  
電話(〇七九)三六二二二二二

大津漁業協同組合  
組合長理事 高 田 保男  
姫路市大津区助兵衛町一五五  
電話(〇七九)三六二二二二二

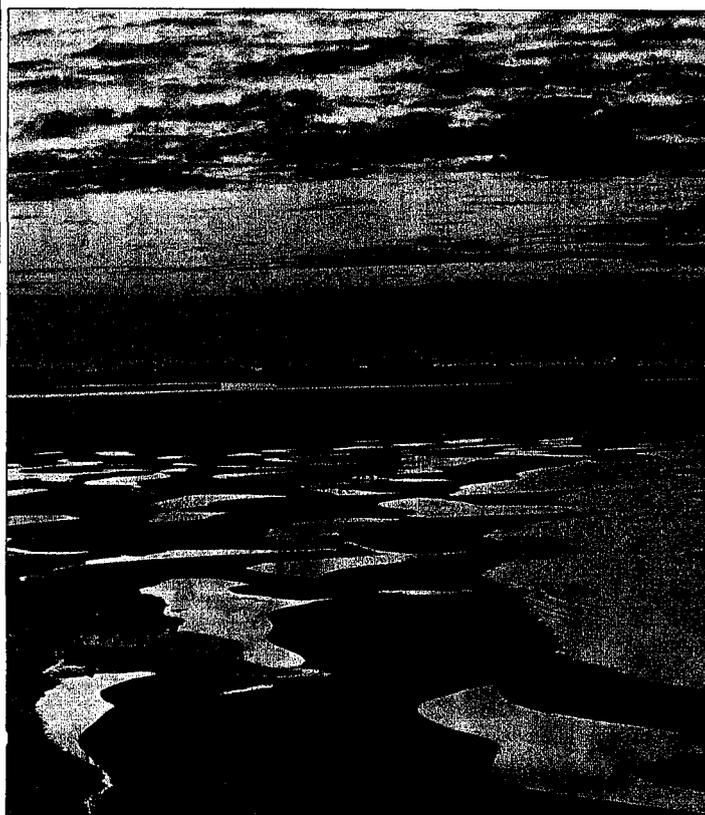
網干漁業協同組合  
組合長理事 塚 瀬 三代司  
姫路市網干区興浜地先  
電話(〇七九)七四二二二二二

家島漁業協同組合  
組合長理事 中 村 庄助  
飾磨郡家島町宮一〇〇一  
電話(〇七九)五二二二二二二

坊勢漁業協同組合  
組合長理事 村 上 孝一  
飾磨郡家島町坊勢六九七  
電話(〇七九)六一〇三三三

苜屋漁業協同組合  
組合長理事 柳 野 政一  
掛保郡御津町苜屋六八二  
電話(〇七九)二二二二二二二

岩見漁業協同組合  
組合長理事 神 頭 宇市  
掛保郡御津町岩見一三〇八二  
電話(〇七九)二二二二二二二



室津漁業協同組合 組合長理事 中川 三二 組保部津町室津四九三二地先 電話(〇七九三)四一〇三三一	由良町中央漁業協同組合 組合長理事 社家美知男 津本市由良二一四一五二 電話(〇七九九)二七〇五五五	塩田漁業協同組合 組合長理事 福谷良重 津名郡津町塩田六一五一一四 電話(〇七九九)六二一〇七四	浅野浦漁業協同組合 組合長理事 森 佈 津名郡北淡町斗ノ内二五三三 電話(〇七九九)八二一〇六四	沼島漁業協同組合 組合長理事 青石 協 三原郡南淡町沼島三六八一一 電話(〇七九九)五七一〇二四六	相生漁業協同組合 組合長理事 鳥井勝明 津本市相生三十四四二二二 電話(〇七九二)二一〇三四四	由良漁業協同組合 組合長理事 岩下亮一 津本市由良二一六二二三 電話(〇七九九)二七〇〇五二	志筑浦漁業協同組合 組合長理事 柏木和三郎 津名郡津名町志筑三三八一三 電話(〇七九九)六二一〇六九	育波浦漁業協同組合 組合長理事 柿本晴美 津名郡北淡町育波一四八二三 電話(〇七九九)八四一〇三三	津居山港漁業協同組合 組合長理事 木下 清 豊岡市津居山三一七 電話(〇七九九)二八一五三三	坂越漁業協同組合 組合長理事 江崎 廉 赤穂市坂越七九五一一 電話(〇七九一)八八〇四五	東由良町漁業協同組合 組合長理事 樫本 實 津本市由良四一六一七 電話(〇七九九)二七〇二三三	生穂漁業協同組合 組合長理事 松原 幸次 津名郡津名町生穂一五五三二七 電話(〇七九九)六四一〇一〇七	室津浦漁業協同組合 組合長理事 岡野 修 津名郡北淡町室津二四二九一八 電話(〇七九九)八四一〇二四	竹野浜漁業協同組合 組合長理事 片山平嗣 城崎郡竹野町竹野五〇五二一六 電話(〇七九九)四七二二八八	赤穂漁業協同組合 組合長理事 花崎 一二 赤穂市御崎五〇 電話(〇七九一)四五二二六〇	洲本漁業協同組合 組合長理事 鯛 正次郎 津本市海岸通一六六一八 電話(〇七九九)三三〇五六八	一宮町漁業協同組合 組合長理事 社 領 学 津名郡一宮町家三二二三二二 電話(〇七九九)八五一〇〇〇二	柴山港漁業協同組合 組合長理事 村瀬和夫 城崎郡香住町神浦九一一一八 電話(〇七九九)三七一〇三〇一	福浦漁業協同組合 組合長理事 有吉 智 赤穂市福浦三七九一一一 電話(〇七九一)四三三〇六〇九	炬口漁業協同組合 組合長理事 西岡美彰 津本市炬口一一一一一 電話(〇七九九)三三〇三六七	釜口漁業協同組合 組合長理事 津國義明 津名郡淡路町釜口四六七地先 電話(〇七九九)七四一三三六	五色町漁業協同組合 組合長理事 柳 里 津名郡五色町都志方才四九四一一 電話(〇七九九)三三〇〇五九	香住町漁業協同組合 組合長理事 吉岡修一 城崎郡香住町若松七四七 電話(〇七九九)三六一三三三一	飯屋漁業協同組合 組合長理事 相田 孝 津名郡東浦町飯屋一一二一一 電話(〇七九九)七四一〇五七	湊漁業協同組合 組合長理事 杉谷佳数 三原郡西淡町湊一一〇〇〇 電話(〇七九九)三六一二〇〇	浜坂町漁業協同組合 組合長理事 森田 國男 美方郡浜坂町芦屋六六二 電話(〇七九九)二一三〇二〇	森漁業協同組合 組合長理事 森 吉一 津名郡淡路町久留麻三二〇五二五 電話(〇七九九)七四一三〇五	丸山漁業協同組合 組合長理事 小川 守男 三原郡西淡町丸山九八三一一三 電話(〇七九九)三九一〇〇〇	由良町漁業協同組合連合会 会長理事 樫本 實 津本市由良二一六一二二三 電話(〇七九九)二七一〇六〇	浦漁業協同組合 組合長理事 新阜 亀吉 津名郡東浦町浦八四二一一三 電話(〇七九九)七四一三二〇一	阿那賀漁業協同組合 組合長理事 坂口美之助 三原郡西淡町阿那賀九八三一一三 電話(〇七九九)三九一〇〇〇	明石市水産加工業協同組合 組合長理事 井上 角一 明石市林三二五一一二七 電話(〇七八)九二二三三八六	淡路町漁業協同組合 組合長理事 岩城賢治 津名郡淡路町岩屋二四四一四一 電話(〇七九九)七二一〇四六	福良漁業協同組合 組合長理事 酒部 龍三 三原郡南淡町福良乙二六五二二二 電話(〇七九九)五二一〇〇六四	全淡水産加工業協同組合 組合長理事 柴田 武 津名郡津名町佐野二七八一二 電話(〇七九九)六五一一〇七〇	富島漁業協同組合 組合長理事 三木 富士雄 津名郡北淡町富島字小倉九四〇 電話(〇七九九)八二一〇一八	南淡漁業協同組合 組合長理事 奥野 進 三原郡南淡町灘土生四五 電話(〇七九九)五六一〇〇〇二	香住町水産加工業協同組合 組合長理事 田中 馨 城崎郡香住町香住一八五四 電話(〇七九九)三六一一〇三
--	---	---	---	--	--	---	---	--	---	---	--	--	---	---	--	--	--	---	--	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	--	---	--	---	---	---	--	--	--